

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	児童療育サポートセンターびこっと		
保護者評価実施期間	令和7年3月3日		～ 令和7年3月12日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 11名
従業者評価実施期間	令和7年2月19日		～ 令和7年2月28日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

分析結果

	事業所の強み()だと思われること より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援開始前の朝礼や支援後の振り返りを通じて、職員間の情報共有や役割分担を明確にし、連携強化に取り組んでいます。これにより、子どもたち一人ひとりの状況を把握し、より質の高い支援を提供できるよう努めています。	職員の専門性向上を目指し、研修や事例共有の機会を充実させ、質の高い支援を提供し続けられるよう努めます。	今後も継続して職員間のコミュニケーションを深め、支援の質向上に向けた取り組みを推進してまいります。
2	ホームページやSNSを活用した定期的な情報発信に取り組んでいます。	今後も、ホームページやSNSを活用した定期的な情報発信に努めてまいります。また、今回のアンケートを通じて、保護者の皆様へのマニュアルの周知が十分ではない可能性があることも分かりました。今後は、より分かりやすく、必要な情報を適切にお届けできるよう改善してまいります。	緊急時対応や事故防止のマニュアルについて、保護者や関係者への周知を一層進めるため、ホームページ等を活用した情報発信の強化を検討してまいります。
3			

	事業所の弱み()だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の開催が十分でないため、保護者同士の交流の場として十分に活用されていない。	令和6年度は療育の様子を保護者の方に見学いただく取り組みを行い、療育に対する理解を深めていただく上で一定の効果があつたと感じています。一方で、保護者同士の交流の場としては十分に機能していなかった可能性もあると考えています。	令和7年度は保護者会の開催も予定しておりますので、そこで保護者同士の交流の機会を増やし、相互理解の促進や安心感の向上に努めます。
2			
3			